

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	書道 I	1	全	選択	2
使用教科書 ・副教材等	書 I (光村図書)				
学習目標	書道の幅広い書活動を通して、生涯にわたって書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考查まで	1 書写から書道へ 2 漢字仮名交じりの書① (1) 硬筆学習 (2) 大筆学習 3 漢字の書① (1) 楷書 ① 臨書と鑑賞 ② 楷書の特徴と書風 ③ 鑑賞 (2) 行書 ① 臨書と鑑賞 ② 行書の特徴と書風 ③ 半切への臨書 ・ 運櫃と筆脈・墨継ぎ ・ 全体構成 ④ 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校書写との関連性を持たせ、書道 I で学ぶ様々な書の美やよさを感じ取る。また、書の伝統や文化を理解するとともに、創造的活動に取り組む。 ・ 筆記用具の使い方を理解する。 ・ 漢字と仮名の基本を理解し、文字や字形に関心を持ち、表現を高める。 ・ 基本的な用具用材に関する知識や扱い方を理解する。 ・ 臨書学習を通して漢字の基本的な点画や線質の表現と、用筆・運筆の関係を理解し、主体的な表現に取り組む。 ・ 鑑賞を通して書の美を分析し、創造的な書表現に結びつける。 ・ 臨書と鑑賞を通して、古典の美とその表現技法に関心を持つとともに、主体的に表現の工夫をし、表現能力の向上に取り組む。
一学期中間 考查まで	(3) 楷書・行書の創作 ① 「団扇の書」 ・ 語句の選定 ・ 運筆と空間 ・ 全体構成 ② 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの意図に基づき創造的な書表現をする。そのために臨書学習で身に付けた漢字の書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の工夫をする。 ・ 書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解する。制作した作品を生活空間に展示して楽しむ。 ・ 臨書と鑑賞を通して、古典の美とその表現技法に関心を持つとともに、主体的に表現の工夫をし、表現能力の向上に取り組む。
一学期期末 考查まで	4 仮名の書 ① 古筆の臨書と鑑賞 ② 行書きと散らし書き 5 篆刻 (白文印・姓名印) ・ 篆書の鑑賞と臨書 ・ 草稿・布字・彫り ・ 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な用具用材に関する知識や扱い方を理解する。 ・ 臨書学習を通して仮名の基本的な点画や線質の表現と、用筆・運筆の関係を理解し、主体的な表現に取り組む。
学年末 考查まで	5 漢字仮名交じりの書② (1) 人権標語の作成 (2) 創作と鑑賞 ① 漢字と仮名の調和 ② 鑑賞 (3) 実用書 ・ 手紙、はがき、表書き等の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名の基本や漢字との調和について、意欲的に取り組む。 ・ 目的や用途に即した形式と表し方を判断し、文字の大きさ配列など、それぞれに適した表現を工夫する。 ・ 生涯にわたり書が身近で実用的なものであることを確認し、手書きの良さと必要性を感じ取る。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出席状況や授業態度、学習プリントの記述・課題の提出状況で評価する。</p> <p>【発想や構想の能力】 作品、制作等の取組、学習プリント・自己評価票の記述内容で評価する。</p> <p>【創造的な技能】 作品、制作等の取組、学習プリント・自己評価票の記述内容で評価する。</p> <p>【鑑賞の能力】 鑑賞活動の取組、学習プリント・自己評価票の記述内容で評価する。</p>	